

立候補推薦文

一般社団法人飯塚青年会議所
第 69 代理事長 外山 武志

私と麻生将豊君との付き合いも早いもので 14 年となりました。2011 年に一般社団法人飯塚青年会議所へ入会した時の LOM のアカデミー委員長を私がさせていただいておりました。当時の印象は頭の回転の速いことと、まだまだ荒削りなところはありませんでしたが、自分なりのビジョンをしっかりと持っていることでした。それから LOM にて様々な役職を受け、多くの経験を積んだことと思います。中でも、会員拡大とアカデミーの育成に関しては多大なる貢献をしていただきました。麻生君だからこそ入会に至ったメンバーもいますし、事業を通じてアカデミーの成長を促してくれました。

その時のメンバーが今や当 LOM の中核を担う、頼もしい JAYCEE へと育っています。

2020 年、飯塚青年会議所第 67 代理事長として、「和而不同」をスローガンに飯塚から日本を変えるべく、様々なチャレンジを行うために、メンバーが一丸となり取り組んできました。しかし新型コロナウイルス感染症の影響で JC 活動そのものが窮地に立たされました。有事の時こそリーダーとしての資質が問われるかと思いますが、麻生君は見事にリーダーとしてメンバーの先頭に立ち、迅速にこの事態に対応してくれました。何よりもメンバーの安全とその家族、社員の方々の安全のために行動をしてくれました。一人の人間として、また子を持つ親として、そして理事長としてあまりにも多くの葛藤の中で、その時その時のベストな選択と判断を下している姿は、本当に頼もしくもあり、誇らしく見ていました。2020 年に行えた唯一の事業「シークレット花火」を先導し、メンバーを一つにまとめ上げた結果、当 LOM の数々の事業の中でもかつてないほどの反響を地域の方々からいただきました。私の長い JC 生活の中でも、涙を流しながら「ありがとう」という言葉をかけていただいたのは初めてです。あらためて、飯塚青年会議所の一員で良かったと心から思わせてくれたのも、当時の麻生理事長のおかげです。この経験がこれからも長く語り継がれていくことと思います。

昨年は日本青年会議所総務グループ担当常任理事として、大変な任を一年間全うし、多くの仲間も出来たことと思います。そして本年度は中島土会頭のもと、副会頭として会頭を支え、全国のメンバーのために日々活動し汗を流しています。誰よりも故郷を愛し、日本を愛している麻生副会頭だからこそ、響く言葉や通じ合う心を感じた全国のメンバーも多くいることと思います。「飯塚から日本を変える」正に今その時に青年のリーダーとして思う存分に力を発揮してくれると確信しています。

飯塚青年会議所は、総意をもって、麻生将豊君を支援し、公益社団法人日本青年会議所
2023 年度会頭候補者として推薦いたします。